

貴志川高等学校

実施日時	令和2年11月5日（木）
参加者	生徒391名、教職員55名、地域住民等0名 計446名
実施内容	シェイクアウト訓練、火災避難訓練

ねらい

1. 近い将来、発生が危惧される南海トラフ地震をはじめ自然災害に備え、高校生の防災への意識を高め、地域防災の担い手として社会貢献できる青少年の育成を目的とする。
2. 関係機関や地域の協力、連携のもと、防災・減災に関するより専門的な知識や技術を習得する。

主なプログラム

1. シェイクアウト訓練
2. 火災避難訓練

概要

1. 紀伊半島に震度7の南海トラフ地震が発生したと仮定して、教室内にいる生徒は、机の下にもぐり、頭部などを保護するシェイクアウト訓練を実施した。
2. 震度7の南海トラフ地震を受けて、生徒ホールからの出火に伴い、全校生徒が教室及び校舎内からグラウンドに避難する訓練を実施した。

参加者感想文

- とっさの反応がなかなかできず、訓練しておいて、よかった。
- できるだけ短時間で、グラウンドに避難する際に、慌てて将棋倒しとかならないように、気をつけた。
- 新型コロナウイルス感染症対策の中で、例年のように、地域の方々や関係機関との連携という形態での実施は難しかったけれど、生徒会のメンバーで、実施可能なメニューを精選

して、今回は、2つのプログラムに限定して実施した。中止するよりも、限定プログラムでも実施できたことは、良かったと思う。

成果と課題

【成果】ここ数年、地域の方々や関係機関との連携という形態で「高校生防災スクール」を実施してきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模縮小しながら、中止せずに、継続実施できたことがよかった。

【課題】自然災害は、新型コロナウイルス感染症が蔓延しているしていないに関わらず、起こるかも知れないので、常に、災害が発生したら、どう対応すべきかを訓練しておく必要がある。こういう状況が続くと想定しつつ、新型コロナウイルス感染症が感染拡大している中で、どういう点に配慮して、「高校生防災スクール」を実施していくかを検討する必要がある。



写真上：シェイクアウト訓練の様子
写真左：避難訓練の様子